

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	消防総務課長 中嶋 仁孝	
消防-02	消防施設管理事業	☒ 自治事務	主管課	消防総務課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(1) 防災・安全	施策の方針	5-(1)-③消防機能の整備・充実

1 事業の目的	
対象	消防職員等
意図	庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保するとともに、災害時の拠点として活用できるよう機能を維持するため。
効果	災害時の拠点となる消防庁舎の機能を維持することができる。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要	
各署所の修繕、保守点検等消防庁舎の維持管理を行った。	

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	消防施設維持管理事業	庁舎清掃管理業務委託料、定期点検手数料	「実施した業務数」/ 「必要な業務数」(%)	94 / 100	100	100	94%
				26,233 / 30,897	21,578		
02	消防施設維持修繕事業	維持修繕料	「実施した修繕数」/ 「修繕必要箇所数」(%)	92 / 100	100	100	92%
				13,466 / 15,929	26,481		
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	39,699 / 46,826	48,059		
		事業費の合計(千円)		39,699 / 46,826	48,059	48,059	
		人件費(千円)		15,730		17,074	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.4	1.4	2.0	2.0	2.0	2.0
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	消防施設維持管理事業	施設設備の維持管理に必要な保守点検等業務を適切に行う。	施設・設備の保守点検を適切に行うことで、災害時の拠点となる消防庁舎を良好に維持する。	老朽化の進んだ設備類の予防的更新を実施したい。
02	消防施設維持修繕事業	施設設備を良好な状態に保つため、小破・突発修繕を適時に実施する。	公務が円滑に執行できるよう職場環境と機能を維持する。	老朽化の進んだ施設の更新を実施したい。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
消防活動の拠点である消防庁舎においては、職員の待機場所、車両や資機材の収納に配慮しつつ、必要な維持管理や修繕を実施した。					
公共施設再編計画等に基づく消防施設の将来を見据えた改修・修繕を進めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	消防施設の管理						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
消防庁舎の修繕を適正に行い、地域の防災拠点としての機能を維持していく。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
	達成率	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--